

論文の内容の要旨

論文題目 都市部の総合診療医・家庭医に必要なコンピテンシーの検討

氏名 密山 要用

背景：近年、世界的な都市への人口集中により都市部におけるプライマリ・ケアの重要性が高まっている。都市部の総合診療医・家庭医（以下、GP/FP とする）の養成が不可欠だが、そのために必要な実践的能力としてのコンピテンシーに関する知見は限定的である。

本論文は、都市部の GP/FP に必要なコンピテンシーを明らかにすることを目的とする。

方法：第 1 の研究で、GP/FP を対象に半構造化面接法による個別インタビューと質的分析により、都市部と非都市部のコンピテンシーの共通と差異について検討する。第 2 の研究で、修正デルファイ法により内容妥当性が高く教育現場に実装できるコンピテンシーリストを明らかにする。

結果：第 1 の研究では、10 名の GP/FP から 42 のテーマを抽出し、5 つの領域に分類された。特に都市部の GP/FP のコンピテンシーとして 10 項目を明らかにした。第 2 の研究では、4 つの属性の異なる集団の 39 名を集めデルファイ法で 3 ラウンドの調査を行い、18 項目の都市部の GP/FP のコンピテンシーを明らかにした。

考察：得られたコンピテンシーについて検討し、都市部のコンテキストを理解し配慮したケアを提供できることが都市の GP/FP のコンピテンシーの中心的な概念枠組みであることを示すとともに、既知のコンピテンシーである「多様性に配慮したケアを提供できること」に加えて、「患者を取り巻く複雑な医療・社会サービスと効果的に連携・調整・統合を行える能力」が都市の GP/FP にとって主要なコンピテンシーであることを新たに示した。

結論：これまで知見が限定的であった都市部の GP/FP のコンピテンシーについて検討し、内容妥当性に配慮した包括的なコンピテンシーリストを示すことができた。これらの知見を踏まえて今後、教育と臨床に実装するためのさらなる研究と教育実践を行う必要がある。